

## 2017年度 教育課程編成・実施の方針に照らした学修への取組の適切性に関する検証

FD委員会

マイステップ・リエゾンポートフォリオ「学びの姿勢ふり返り（学科／研究科専攻の教育課程編成・実施の方針）」のデータを活用した検証です。

学科の教育課程編成・実施の方針については、本学ホームページの「教育方針」（下記のURL）をご覧ください。

<https://www.tfu.ac.jp/aboutus/policy/index.html>

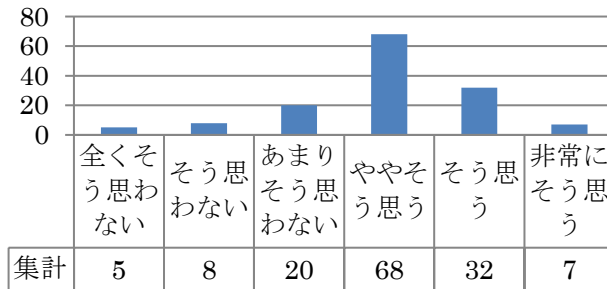
学科・研究科専攻	検証の結果
情報福祉マネジメント学科	<p>情報福祉マネジメント学科では、カリキュラム・ポリシーに基づき「学びの姿勢振り返り」として「1. アクティブラーニングを取り入れた多様な教育科目を受講し、主体的に学びの力を高めようとしている」「2. ポートフォリオを作成し、自己の学修成果と学生生活を自分自身で管理、振り返りに取り組んでいる」「3. ユニバーサルパスポートを活用し、教員の双方向のコミュニケーションを密にすることで学修成果を高めようとしている」「4. PBL(Project and Problem Based Learning)に取り組み、高度な問題発見・問題解決能力を養っている」「5. 知識・技術の確実な定着のために、講義科目のみでなく、実習科目にも取り組んでいる」の5項目を6件法によって調査することで、学科 教育課程の編成・実施の方針に照らしたカリキュラムの適切性の検証を実施した。（回答数：140）</p> <p>その結果、6件を1～6点に換算した際の平均値、「ややそう思う」「そう思う」「非常にそう思う」（以下、「そう思う」以上）と解答した者、および、「全くそう思わない」と解答した者の全体に対する割合は、それぞれ、下記の通りであった。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. アクティブラーニングを取り入れた多様な教育科目を受講し、主体的に学びの力を高めようとしている（平均値：3.2 グラフ1） 「ややそう思う」以上 76.4 % 「全くそう思わない」 3.6 %</li> <li>2. ポートフォリオを作成し、自己の学修成果と学生生活を自分自身で管理、振り返りに取り組んでいる（平均値：2.9 グラフ2） 「ややそう思う」以上 64.3 % 「全くそう思わない」 2.9 %</li> <li>3. ユニバーサルパスポートを活用し、教員の双方向のコミュニケーションを密にすることで学修成果を高めようとしている（平均値：3.1 グラフ3） 「ややそう思う」以上 73.6 % 「全くそう思わない」 2.1 %</li> <li>4. PBL(Project and Problem Based Learning)に取り組み、高度な問題発見・問題解決能力を養っている（平均値：3.1 グラフ4） 「ややそう思う」以上 77.1 % 「全くそう思わない」 2.9 %</li> <li>5. 知識・技術の確実な定着のために、講義科目のみでなく、実習科目にも取り組んでいる（平均値：3.1 グラフ5）</li> </ol>

「ややそう思う」以上 77.1 %  
 「全くそう思わない」 0.7 %

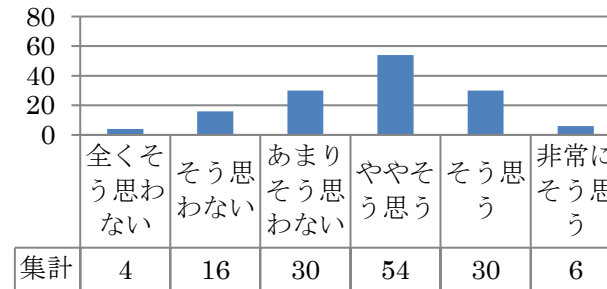
5項目中4項目において、「ややそう思う」以上が70%を上回り、逆に、「全くそう思わない」は4%を下回っていることから、**学科 教育課程の編成・実施の方針は適切**と判断できる。

ただし、「ポートフォリオを作成し、自己の学修成果と学生生活を自分自身で管理、振り返りに取り組んでいる」については「ややそう思う」以上が64.3%と他の項目と比較して平均値が10ポイントほど低い。したがって、この項目が来年度の課題であり、適切な指導が必要である。

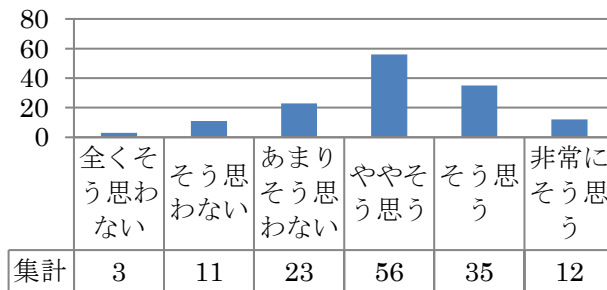
グラフ1：アクティブラーニング



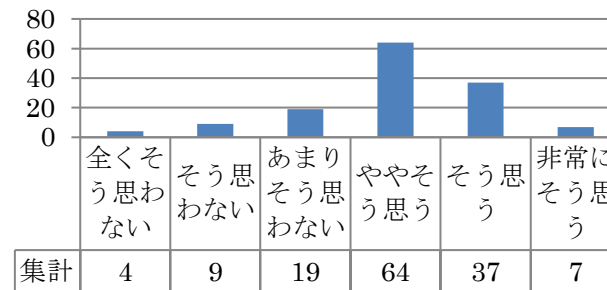
グラフ2：ポートフォリオ



グラフ3：ユニバーサルパスポート



グラフ4：PBL



グラフ5：実習科目への取組

